

Libre

Vol. 35

リブレ

編集・発行 NPO法人日本バリアフリー協会／政策研究所
Japan Barrier-free Association

【事務局】 〒102-0093 東京都千代田区平河町1-7-16-801
TEL：03-5215-1485 FAX：03-5215-1735 E-MAIL：info@npjba.org
URL：http://www.npjba.org

GCは私たちの活動を象徴する言葉です

私は、1999年にGreen Concert（デンマーク）を視察し、2003年にその日本版ゴールドコンサート（Gold Concert）を立ち上げました。そして2013年にGCグランドフェスティバルを立ち上げました。

それではGCという頭文字にどんな共通点があるのか。

1. 当事者性が強い

障がい者本人が主催し、中心となり企画運営をしている

2. 提案型である

泣き言やお涙ちょうだいではなく、必要なことを具体的に提案する

3. 社会性が強い

行政、企業、メディア、教育機関、地域などと連携させてもらい行う

これら3つの特徴がGCという言葉に象徴されています。

GCグランドフェスティバル2015を振り返って

2015年4月17日（金）に豊洲PITにおいて開催しました。2回目となる今回、都内最大のライブハウスに約1200名の方々がご来場され着席でほぼ満員となりました。



©ANZPHOTO
豊洲PITにてGCグランドフェスティバル2015アンバサダー織田友里子さんと

前回よりも多くの障がい者が企画運営に携わり、当日も14名の障がい者が運営に従事し、この事業の目的により資するものとなりました。

今回特に顕著であったのは、朝日新聞の全国版をはじめ、NHK総合、日本テレビ、ともに全国放送のニュース番組で合計11分「特集」として取り上げられたことです。広く一般に伝わったことは、目的である障がい者の就労拡大のための社会啓発に繋がりました。また、知名度の向上により今後の企画もやりやすくなりました。



©株式会社フォトライフ
クレイジーケンバンド（GCグランドフェスティバル2015）

課題は音楽フェスティバル（複数アーティストの出演）として定着させることです。対象とする観客の層、アーティストの選択、収益性、組織の枠組みなど、より適切なものにしていきたいです。

ただ今回は、障がい者の関係者、観客が大幅に増えたという点で、真に当事者が核となるイベントとして一步を踏み出すことができたのは大きな成果でした。

これも皆さまのご協力があったからこそできたことです。まことにありがとうございました

目次

1	目次・代表コラム
2	NPO活動報告
3	GCグランドフェスティバル2015開催報告（ライブ）
4	GCグランドフェスティバル2015開催報告（制作サイド）
5	GCグランドフェスティバル2015開催報告（フュージョンマーケット）
6	GCグランドフェスティバル2015協力者の皆様
7・8	GC12出場者紹介
9	応募状況

10	特別ゲスト紹介
11	ゲスト・審査員・司会者紹介
12	関西予選会報告・ファンからのメッセージ
13	第12回ゴールドコンサート協力者の皆様
14	第11回ゴールドコンサート協力者の皆様 平成26年度競輪補助事業完了のお知らせ
15	ボランティアスタッフ募集のお知らせ
16	第12回ゴールドコンサート開催概要



© 株式会社フォトライフ

フォトセッション（GC グランドフェスティバル 2015）

ゴールドコンサート関西予選会開催！

本戦出場者決定！

2015年5月16日（土）にスポニチプラザ（大阪市）において開催しました。関西予選会は、11回目のゴールドコンサートに合わせて昨年・前回からはじめたものです。

10周年においては、過去9回のグランプリ同士で競ってもらい、グランドチャンピオンを決めました。前回の11回は原点に戻り、より多くの障がいをもつミュージシャンにチャンスがあるように、関西予選会をはじめました。

今回の関西予選会は、前回の14組のエントリーから19組に増え、沖縄から関東にかけて応募がありました。関心の高さがうかがえます。

次回のゴールドコンサートにおいては、沖縄、大阪、仙台の各地で予選会を開催する予定です。多くの音楽に出会えることを楽しみにしています。



関西予選会（スポニチプラザ大阪 2015年5月16日）

さて、延べ94組に上る関西予選会の演奏と応募音源の審査の結果、12組の第12回ゴールドコンサート本戦出場者が出そろいました（3、4ページ参照）。

今回はどのようなたたかいになるのでしょうか？

今年は、日韓外交正常化50周年です。第12回ゴールドコンサートは記念事業として外務省より認定されています。これまで10年にわたり韓国から障がいをもつミュージシャンが来日し、ゴールドコンサートに出場してまいりました。今回以降も交流を深めていきたいです。

特別ゲストはGOMAさん

今回の特別ゲストは、ディジュリドゥ奏者のGOMAさんに決まりました。交通事故のため高次脳機能障害をもっています。そのため一時は音楽活動をされていなかったのですが、その後復帰されました。

ゴールドコンサートは10周年までは、紅白に出演するような著名なアーティストを特別ゲストとして迎えてきました。それは、ゴールドコンサートを発展させてグリーンコンサートのような著名なアーティストが出演するフェスティバルにもっていくための、準備という意味もありました。

しかし結局、発展させるという構想はやめて、新たにGCグランドフェスティバルを立ち上げました。

したがって、ゴールドコンサートは、障がい者が主催し、出演する音楽イベントとして、継続していくことを決めました。そこで11回からは方針を変え、障がいと関係のあるような特別ゲストを招へいすることとしました。

前回は、HANDSIGNという手話をテーマにしたグループでした。今回はご自身が障がいを持ちながら、プロとして音楽活動をされているGOMAさんをお願いしました。

生でGOMAさんの演奏を聞いたことがあります。ディジュリドゥという楽器の奏でる音もさることながら、全身で表現するGOMAさんの演奏に魅了されました。私は、東京国際フォーラムホールCで聴くのが今から楽しみです。

それではみなさん10月12日、東京国際フォーラムで会いましょう！

GC GRAND FESTIVAL 2015

GCグランドフェスティバル 開催報告 (ライブ)



GCグランドフェスティバルとは、ロック、ポップスを中心とした著名アーティストによる音楽イベント。音楽の楽しさを皆さまにお届けする、日本初の障がい者が主催するエンタテインメント事業です。

このたびは、GCグランドフェスティバル2015に参加していただきありがとうございます。今後も、障がい者が自立して就労をひろげられるように、開催をしていきます。

実行委員長 貝谷嘉洋

日時：2015年4月17日 (金)
開場：18:00 開演：19:00
会場：豊洲PIT 東京都江東区豊洲6-1-23

座席指定：6,000円／スタンディング：5,000円
主催：GCグランドフェスティバル実行委員会／NPO法人日本バリアフリー協会
観客動員数：1,207名

【出演者、演奏曲目】

MORISHIN

1. 未来の人よ
2. 大切な笑顔
3. 僕の隣で



©ANZPHOTO



© 株式会社フォトライフ

二人目のジャイナ

1. Let's Sing a Song Together
2. メクルメク
3. ボンダンス
4. ジャイナニズム
5. うつろうセグメント



©ANZPHOTO

鳥袋寛子

1. 鳥唄
2. 私のオキナワ
3. 島人ぬ宝
4. 童神
5. 花



©ANZPHOTO

クレイジーケンバンド

1. 男の滑走路
2. スージーウォンの世界
3. タイに行きたい
4. タイガー&ドラゴン
5. 発行！深夜族
6. GT
7. 木彫りの龍



© 株式会社フォトライフ



©ANZPHOTO

GC GRAND FESTIVAL 2015

GCグランドフェスティバル 開催報告（制作サイド）



GCグランドフェスティバル2015では、様々な障がい者が企画・運営・制作に従事しています。
今回、東北復興支援にもつながる会場として「豊洲PIT」を選定しており、東北の障がい者団体・個人への優先発注の一環として、宮城県の団体・個人に発注をしました。

- 【運営、制作等】** HP制作 / 株式会社NTTデータだい
 応援サポーター募集サイト制作 / 有限会社YPP
 名刺作成、印刷物デザイン / 株式会社沖ワークウェル
 印刷 / 社会福祉法人共生福祉会 萩の郷福祉工場（宮城県仙台市）
 Tシャツモチーフ制作 / 清水敬太（宮城県在住 エイブルアート・カンパニー登録作家）
 アンバサダー / 織田友理子
 主催 / NPO法人日本バリアフリー協会

その他、開催日当日を含め多くの障がい者が関わりました。

プレス管理、Tシャツ販売、チラシ配布、会場内誘導、バックステージツアーガイド、協賛獲得活動、付帯事業（「フュージョンマーケット」）運営



当日配布パンフレット表紙



当日配布パンフレット中身 1



当日配布パンフレット中身 2



当日配布パンフレット裏表紙



A4 チラシ表面



A4 チラシ裏面

GC GRAND FESTIVAL 2015

GCグランドフェスティバル 開催報告（付帯事業「フュージョンマーケット」の開催）



同じステージで。

GCグランドフェスティバル2015の付帯事業として「フュージョンマーケット」を開催しました。
豊洲PITの入り口の前に出店ブースエリアを設け、就労移行施設、就労支援施設など、障がい者の就労に関係する企業・団体が出店し、プリザーブドフラワー、アクセサリー、小物などの雑貨、クッキー、チョコレートの販売、整体など、高クオリティーの商品・サービスの提供をし、多くの来場者で賑わい、好評を博しました。

ブース出店者

- ・公益財団法人日本ケアフィット共育機構（介助ステーション）
- ・NPO法人ぱれっと（クッキーの販売）
- ・杉原プロジェクト実行委員会（チャリティーTシャツ、オリジナル水筒の販売）
- ・一般社団法人ラルバルカグループ（久遠チョコレートの販売）
- ・世田谷区立世田谷福祉作業所（クッキー、ケーキ、手すき紙商品）
- ・クラフト工房LaMano（布製品の販売）
- ・すいーつぱたけ（菓子パンなどの販売）
- ・一般社団法人アプローズ（フラワーアレンジメント案内）
- ・株式会社LIC（緊急時の簡易トイレ）
- ・ワークセンター れすと（クッキー等、焼き菓子）
- ・NPO法人AlonAlon（プリザーブドフラワーの販売）
- ・FDA川崎（関連企業の商品販売）
- ・工房集（タンブラ等雑貨の販売）
- ・株式会社一度の人生（整体マッサージ）
- ・ブルーベンチ（トラックでの雑貨販売）



© 株式会社フォトライフ



© ANZPHOTO

HP、当日配布パンフレットに掲載する為に、制作者（障がい者）への取材を担当した矢嶋志穂氏の取材後記を紹介します。

<プロフィール>



矢嶋 志穂
（心理カウンセラー・障害者生活相談員）
「感音性難聴」と診断され障害者となり、その後、脳神経系の難病を発症し現在も闘病中。長年、競技活動（水泳）を継続。仕事面では、当事者目線から障害者雇用の担当者としてカウンセリング・定着支援等、幅広い分野にて活躍中。

障がい者が企画・運営する日本初のエンターテインメント事業「GCグランドフェスティバル2015」が開催されました。3月の初旬、名刺作成を依頼したOKIワークウェルへ取材を行いました。

重度肢体障がい者の在籍勤務について説明を受け、実際に在宅勤務中の社員とワークウェルコミュニケータを使い会話を体験。私自身も重度肢体障がい者であるが、企業での就労期間は長いが在宅勤務経験は一度も無く、全てが興味深く、「なるほど。」の連続でした。

前回と大きく違う点といえば、「フュージョンマーケット」の開催。障がい者施設等から合計13のブースが出展。来場者は開場前のひとときを楽しんでいました。ブースの設営や様々なポジションで障がい者が、働くを楽しみながらイベント参加への達成感・充実感を感じたのでは無いでしょうか。

開演中ロビーに一組の親子、話を聞くと家族で来たけど子供が少し疲れ気味、「家族揃って並んで観覧出来るコンサートは滅多に無いので、とても嬉しい。」と当たり前の事だが、日本のコンサート事情では車椅子ユーザーには付添1名まで。場合によっては一人だけ違う席で観覧する事も少なくはない。当事者が伝えることに意義があり、「GCグランドフェスティバル」の社会に対する重要性を感じました。

終演後・会場を後にする車椅子ユーザーからは「楽しかった」「来年も楽しみにしているよ」そんな声かけをしてもらい、疲れも一気に吹き飛びました。（文：矢嶋志穂）

GC GRAND FESTIVAL 2015

GCグランドフェスティバル 協力者の皆様



後援

厚生労働省
東京都
宮城県
江東区
仙台市
TOKYO FM
一般財団法人国際ユニヴァーサルデザイン協議会
一般社団法人全国肢体不自由児者父母の会連合会
社会福祉法人全国社会福祉協議会
全国自立生活センター協議会
一般社団法人ゼンコロ
一般社団法人日本筋ジストロフィー協会
NPO法人日本障害者協議会
日本障害フォーラム
一般財団法人日本友愛協会

協力<企業・団体>

株式会社アサツー ディ・ケイ
エイブルアート・カンパニー
OFFICE JUMPING NINE
株式会社クオライフドットコム
NPO法人ココロのバリアフリー計画
車椅子ウォーカー
株式会社島桜子事務所
昭和女子大学
ダブルジョイレコーズ有限公司
一般社団法人チャレンジド・クリエイティブラボ
公益財団法人日本ケアフィット共育機構
日本工学院八王子専門学校
びあ株式会社
株式会社ホットスタッフ・プロモーション
三井不動産商業マネジメント株式会社
株式会社モリシン
公益財団法人ヤマト福祉財団
株式会社ライジングプロダクション
レインボータウンエフエム株式会社

協賛 (50音順)

株式会社NTTデータ
沖電気工業株式会社
株式会社コヤマドライビングスクール
株式会社東北新社
日本電信電話株式会社
日本郵政グループ
株式会社フォーシーズ
美和ロック株式会社
株式会社メディカルフォーラム
ユアサM&B株式会社
医療法人和楽会

実行委員会

<委員長>

貝谷 嘉洋 (NPO法人日本バリアフリー協会 代表理事)

<委員>

竹中 ナミ (社会福祉法人プロップ・ステーション 理事長)
田原総一郎 (ジャーナリスト・評論家)
野田 聖子 (衆議院議員・ゴールドコンサート組織委員会会長)
坂東真理子 (昭和女子大学 学長)
藤井 克徳 (日本障害フォーラム幹事会議長)
湯川れい子 (音楽評論家・作詞家)

<顧問>

エーバルド・クロー (デンマーク筋ジストロフィー協会会長)

制作協力

印刷：協友印刷株式会社、共生福祉会萩の郷福祉工場
映像：株式会社Nakane Production
写真撮影：株式会社アンズフォト、株式会社フォトライブ
Web制作：株式会社NTTデータだいち、有限会社YPP

マスメディアによるGCグランドフェスティバルの告知・放送・掲載

<テレビ・ラジオ>

・NHK総合「ニュース シブ5時」
・日本テレビ「ニュースゼロ」
・日本テレビ「NEWS every..」
・TOKYO FM
・コミュニティFM66局
「MORISHINのラジオ始めました」

<新聞>

・朝日新聞
・スポーツニッポン
・日本経済新聞
・読売新聞

<雑誌・機関紙など>

・NEWMEDIA Number386
・教育音楽 中学・高校版 2015年7月号
・一日も早く No.286
・緋Kizzuna vol.3
・ぼっけ便り vol.24
・ボランティア vol.365

<インターネット>

・Quo-Life
・チケットぴあ



第12回ゴールドコンサート出場者決定!!

昨年度大会から一年、また新しい可能性を秘めた障がいを持つミュージシャンが東京国際フォーラム ホールCに集結し、10月12日（月・祝）に第12回ゴールドコンサートを開催いたします。2回目となる関西予選会と、全国各地から寄せられました音源応募作品を合わせ、延べ94件の応募があり、今回も多くの個性あふれる作品が寄せられました。ご応募いただいた皆さま、誠にありがとうございました。厳正な審査の結果10組の本戦出場と決定いたしました。その他韓国とインドからも出場いたします。

特別ゲストとしてGOMAさん、第9回ゴールドコンサートチャンピオン、10周年記念大会 第3位の佐藤ひらりさんがゲスト出演します。

皆さま、お誘い合わせの上、是非ご来場ください。お待ちしております。



舞とくる

障がい：肢体/精神・内部/聴覚
地 域：沖縄
編 成：三線・ボーカル・パーカッション・手話歌 ほか
楽曲名：未来

出場者
PR

耳が聞こえないから音楽を楽しめない概念を破壊したい。脳性マヒの舞ちゃんのプロになりたい夢を実現したくて活動中。
プロを目指す登竜門として応募しました。

まさたか 太田 将誉

障がい：知的 編 成：ピアノ
地 域：東京 楽曲名：夕日

出場者
PR

4歳の頃よりピアノをはじめ、小学生の頃から作曲活動が続けている。2009年大阪府障がい者芸術コンテスト音楽部門にてグランプリ受賞。2013年には国際障がい者ピアノフェスティバル in ウィーンにて銅メダルを受賞。
数あるオリジナル作品の中から、一番気に入っている曲を、是非たくさんの方に聞いて頂きたく応募しました。
苦しかった日々、海に沈む壮大な夕日を思い浮かべ、心を癒し、未来への夢へ思いを馳せてきました。万感の思いを込めて皆様へ勇気をお伝えしていきたいと願っております。

YOUTA

障がい：視覚 編 成：ピアノ
地 域：富山 楽曲名：ひかり

出場者
PR

昨年の第11回ゴールドコンサートでは「ENDROLL」で楽曲賞を受賞し、2度目の出場。
天性の音楽好きで、鍵盤とラジカセをおもちゃに育ち、現在ふるさと富山を拠点に、作編曲家・ピアニストとして活躍中。
全国各地でのライブ、歌手や楽団のプロデュース、宝塚歌劇団出身の女優・内田もも香との共演など多彩。
また、自らの経験や障がいを活かした福祉関係の講演、音楽イベントの企画・アマチュアバンドとの交流を通して地元音楽界の発展と地域文化の活性化に取り組むなどの活動も行なう。

シントロー。

障がい：内部 編 成：ピアノ・ボーカル
地 域：福岡 楽曲名：全ての『今』を君に…

出場者
PR

12歳の時に音楽に触れ、中学・高校と吹奏楽部(打楽器)に在籍。高校の音楽科在学中にピアノ・和声・合唱法・音楽理論等を学ぶ。吹奏楽コンクール全国大会にて金賞を受賞。その後、生かされてる理由を見つけたくて、そして自分の歌で一人でも多くの人たちの生きる力になりたいと思いギター、曲創りを始める。2009年ギター弾き語りでのライブ活動を開始し、味わいのある深い楽曲に曇のないストレートな声が特徴的な世界観を持たせている。2011年関西ツアーを実施、2012年初のワンマンコンサートを埼玉県（市民会館うらわ）で実施。今後さらに活動の幅を広めるべく応募しました。





第12回ゴールドコンサート出場者決定!!

末近 功也

障がい：知的・発達 編成：ピアノ
地 域：兵庫 楽曲名：エチュードOp.25 No.12
「大洋のエチュード」
(シヨバン作曲)

出場者 PR

兵庫県在住、自閉症の高校2年生。
障がいにより言葉がなかなか出ず、小学2年生から少しずつ発語し始め、幼稚園の頃から1本指で鍵盤楽器を弾き始める。小学3年生のころからピアノを習い数々のコンサートに出場。関西を中心に全国で知り合った障がい者ピアニスト達と共にコンサート活動をしている。2013年にはウィーンで行われた国際障がい者ピアノフェスティバルでは金賞を受賞。
過去のゴールドコンサート出場者の方々の活躍がとても素敵で、いつかはこんな舞台上に立てるようになりたいと思ひ応募しました。

高橋 直樹

障がい：肢体・聴覚 編成：マリンバ ほか
地 域：宮城 楽曲名：チャルダッシュ
(モンティ作曲)

出場者 PR

5歳からピアノをはじめ、今回演奏するマリンバは小学2年生から始める。リハビリとして始めたピアノとマリンバで夢を持ち努力を続けている。
叔父の脳梗塞の際に聞かせてから、周辺の皆様から「勇気が出る」「前に進める」などのお言葉を頂き、学校・病院で演奏している。震災後は家の事、楽器も楽譜も大変な状況でしたが「音楽を聴かせてほしい」と家の事より楽器を購入。諦めず夢や希望を持ち目標を決め努力していけば可能性は広がる。その大切さを音楽を通して伝えたい。

神田 多恵子

障がい：内部 編成：ギター・ボーカル
地 域：東京 楽曲名：しあわせの唄

出場者 PR

17歳の頃より音楽活動を開始し、昨年12月に初のワンマンライブを成功させるなど、都内ライブハウスを中心に精力的に活動中。
私は、三尖弁閉鎖不全という障がい生まれつきあって、子供の頃から身体は弱く、自分がどうして「普通」ではないのか、と悩んでばかりいました。14歳の時、音楽に出逢って心を救われたことがありました。私にも、誰かの心の支えになるような、元気を与えられるような歌が歌えたらいいなあ、と思い、今回このようなコンサートがあると知って応募させていただきました。自分とは、また違った障がいや病気を持った方たちと知り合えるような場所でもあるし、もっと視野を広げてみたいのです。そして、大きなステージに立ってここまで育ててくれた、母親やファンみなさんに その姿を見せたいです。よろしくお願いいたします。

DJ Yuta & Yuichi

障がい：肢体 編成：シンセサイザー ほか
地 域：鳥取 楽曲名：Night Sky Sugar

出場者 PR

鳥取県で活動するエレクトロニカ系のテクノ・ユニット。2014年の結成以降県主催のあいサポート・アートととりフェスタ2014や青山剛昌ふるさと館などで精力的にライブを行う。楽曲の制作には基本的にPCを用いるが、ライブではシンセサイザーとギターのみによる即興演奏も得意としている。また2015年3月にはアート・ユニット"Sandglass"名義で、横浜で開催された在アルメニア日本大使館設立記念交流展覧会に参加。更に県の鳥取力創造運動支援補助事業による映画「うさぎ、追いつけ」に出演・演奏（平成27年公開予定）するなど、音楽に限らずアートの各分野でも幅広い活動を展開している。

MASA-TSUGU

障がい：肢体 編成：ボーカル
地 域：岐阜 楽曲名：Just for

出場者 PR

中部NHK放送番組「uta-tube」企画のインターネット投票で過去最高の4023票獲得した中部地区J-POP界の最終兵器。
タワーレコード予約チャート最高14位、アイドルグループへの楽曲提供など幅広く音楽活動を展開中。

柳田 誠

障がい：肢体 編成：ボーカル・電子ドラム ほか
地 域：神奈川 楽曲名：神様夢を叶えて

出場者 PR

8年前脳梗塞で倒れ、左半身マヒで車椅子・失語症・言語障がい・記憶障がい・視力障がい・高次脳機能障がいを患う。左手指のリハビリのためウクレレを始める。2012年多数人ウクレレ演奏でギネス認定。同年、障がい者支援CDをリリースし、CD売上金を障害者支援団体に寄付。病気に負けてたまるかライブを継続中。現在は音楽療法士として活動し、言語聴覚士に挑戦中。

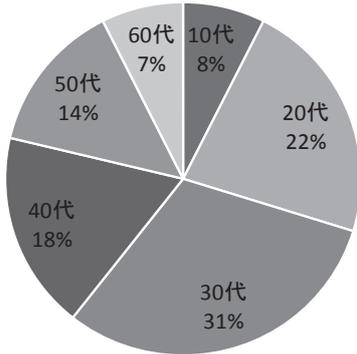


応募状況

2015年2月1日(日)～5月7日(木)までの期間に関西予選会、音源エントリー合わせて94件の応募が寄せられました。ジャンルもポップス、クラシック、ロック、ジャズなど多岐にわたります。

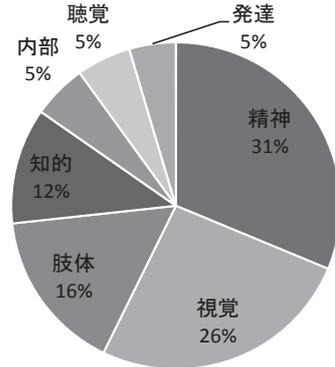
1 応募者の年齢 (n=94)

例年通り、30代の応募が多くトップ。しかし、10代、20代と若い世代の応募も増えています。



2 障がいの種類 (n=94)

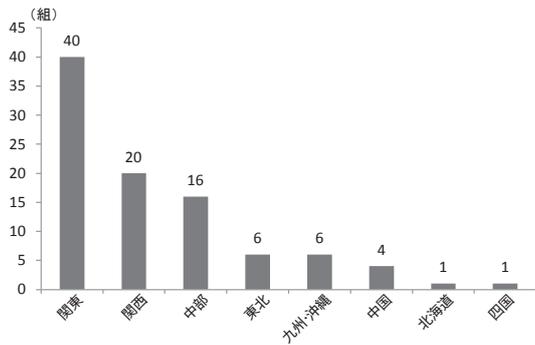
最近の傾向として精神障がい者からの応募が増えています。また視覚障がい者からは例年通り多くの応募があります。



※重複障がいや、グループに複数の障がい者を含む場合は、それぞれの障がいをグラフ内の凡例に分けて集計しております。

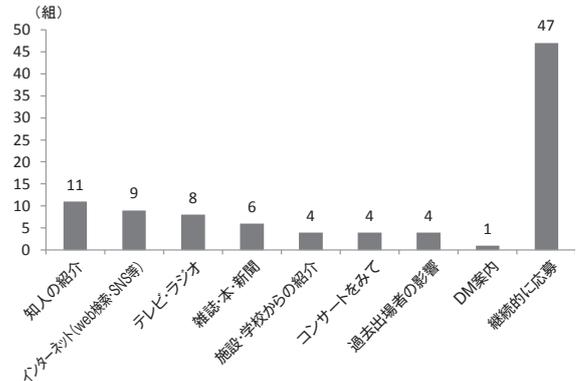
3 応募者地域 (n=94)

例年通り関東(主に東京)からの応募がトップとなりましたが、関西・中部地方からの応募が増えています。



4 応募のきっかけ (n=94)

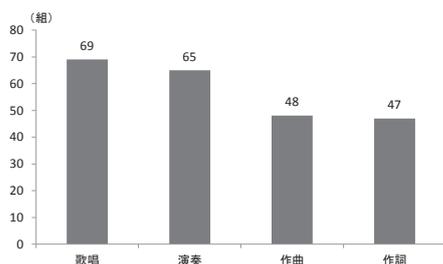
継続的な応募と初応募が半々になりました。応募のきっかけは知人からの紹介が最も多いですが、インターネット、テレビ・ラジオ、雑誌・新聞などといった各種メディアからの応募も増えています。



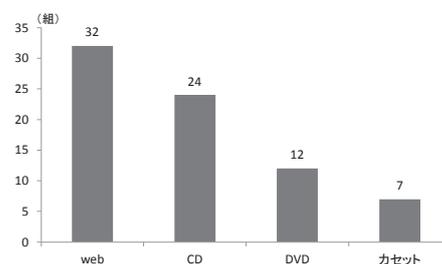
5 応募曲について

オリジナル曲での応募が6割を超え、その内約8割の障がい者は作詞・作曲も手がけています。応募時の録音媒体は、昨年からはじめたweb応募が例年のCDでの応募を越え最も多くなりました。

①障がい者楽曲内での役割 (n=94) 複数回答あり



②録音媒体 (n=75)



特別ゲスト

GOMA



<メッセージ>

今年ゴールドコンサート初参加させていただくGOMAです。僕は5年前に交通事故で脳を損傷し高次脳機能障害という後遺症を抱えながら今を生きています。

この日全国から選りすぐられた有志が集まると聞きました。障害を抱えながらも楽しむ事を忘れず希望に満ちたエネルギーと一緒に発信できる事とても嬉しく思います。

音楽の魔法を体感できるような瞬間が訪れるといいですね！音楽を信じ救われている人間の1人として今からワクワクしています。

感謝を込め皆様とお会いできること楽しみにしています。

<プロフィール>

オーストラリア先住民族の管楽器ディジュリドゥの奏者・画家。1998年にアボリジニーの聖地アーネムランドにて開催された「バルンガディジュリドゥコンペティション」にて準優勝。ノンアボリジニープレイヤーとして初受賞という快挙を果たす。帰国後全国の野外フェスティバルや海外にも活動の幅を広げまさにブレイク寸前だった2009年追突事故に遭い「外傷性脳損傷による高次脳機能障害」と診断され、過去10年ほどの記憶の多くを失い新しいことも覚えづらくなる記憶障害を患い活動を休止。2010年、事故後間もなく描き始めた点描画が評判となり、全国各地で展覧会を開催。11年には再起不能と言われた音楽活動も苦難を乗り越え再開した。GOMAの復帰を描いた映画「フラッシュバックメモリーズ3D」が第25回東京国際映画祭にて観客賞、韓国全州映画祭で最優秀アジア映画賞を受賞。また事故後のGOMAの活動を取り上げたTV番組「旅のチカラ（NHK）」「ハートネットTVブレイクスルー（Eテレ）」など様々なTV番組にも出演。現在は音楽活動のみならず絵画展、講演会と多岐に渡り活動中 www.gomaweb.net



ゲスト

佐藤 ひらり

<プロフィール>

2001年新潟県三条市生まれ。現在14歳。視神経低形成により生まれつき全盲。5歳の時、ピアノに触れ音楽に目覚める。9歳の時、はじめてのオリジナル曲「みらい」を作詞・作曲。2012年第9回ゴールドコンサートにて「なないろの夢」でグランプリ受賞。小学生のシンガーソングライターとして注目を集める。2013年8月ニューヨーク・アポロシアターのアマチュア・ナイトに挑戦、ウィークリー・チャンピオンを獲得。2014年11月26日、デビュー・ミニ・アルバム『なないろの夢』をSHINKO MUSIC RECORDSよりリリース。現在、セカンド・アルバムをレコーディング中。



審査員

<審査員長>

湯川 れい子（音楽評論家・作詞家）

<副審査員長>

吉岡 正晴（音楽評論家）

<審査員>

阿部 恒世（WAWAWA元編集長）

工藤 由美（音楽ジャーナリスト）

小久保 隆（環境音楽家）

仲川 一昭（福祉の管弦楽団まごころ・ボランティアオーケストラ「響（ゆら）」代表・指揮者）

中島 浩之（エイベックス・クラシックス・インターナショナル株式会社 代表取締役社長）

萩原 岳（ナレーター、メディア・エンタテインメント・販売コンサルタント）

花村 ひろ子（有限会社エフ・エム・ジー 代表取締役 会長）

吉田 聡志（株式会社シンコーミュージック・エンタテイメント 取締役 著作権部長）



司会

村松 加王里（フリーアナウンサー）／寺田 湧将^{ゆうすけ}（吉本初車イスお笑い芸人）



第12回ゴールドコンサート 関西予選会報告

5月16日（土）スポニチプラザ大阪にて開催

応募19組（1組棄権）

大阪、兵庫、京都、奈良の他、沖縄、四国、東海、関東から、幅広い音楽分野の応募者が集結し、本戦出場への熱戦が繰り広げられました。

審査・結果発表後、打ち上げも開催し、昨年予選会から本戦に出場された我如古盛健さんのミニ演奏会もあり、審査員、6組の応募者、事務局も参加して交流を深めました。

応募者の誘導等は、大同生命保険株式会社の有志を含め10人の方々にボランティアでご協力いただきました。

本戦への出場を決定された方は次の通りです。

応募者名：舞とくくる
曲名：未来
地域：沖縄
障がい：肢体/精神・内部/聴覚
パート：三線、ボーカル、パーカッション、手話歌ほか



助成：公益財団法人JKA
審査員長：仲川 一昭（福祉の管弦楽団まごころ・ボランティアオーケストラ「響」代表・指揮者）
審査員：酒井 靖（一般財団法人たんぼぼの家 エグゼクティブディレクター）
厨子 雄二（スポニチプラザ大阪 総支配人）
司会：斉藤 日登美
ミニ演奏会：我如古 盛健（第11回ゴールドコンサート 出場者）



ファンからのメッセージ



私がゴールドコンサートに参加したのは第7回、そこから私の妻と2人の子供も観客として毎年楽しんでいます。その時、下の子供は2歳だったので途中で帰る予定でしたが、子供達がエキサイトし、結局最後まで音楽を聞きあって帰りませんでした。それ以来、毎年ゴールドコンサートは我が家の年中行事です。子供も5年生と2年生になり、自分は誰が一番良かったといつも意見が割れて言い合っています。特に第10回記念大会の時は意見の対立が激しかったのを覚えています。子供達にとって良かったことは、偏見や色眼鏡を持つよりも、もっと小さい頃から見に行っているおかげで、純粋にチャレンジドの方々の音楽を楽しみ、観客にチャレンジドの方がいることが普通の環境と思えています。ゴールドコンサートは音楽を通じて多種多様な人々が交流できる非常に貴重なコミュニティです。これからも音楽を通してさらに皆さんと交流させて頂きたいと思います。

実行委員 小西 明宏



第12回ゴールドコンサート協力者の皆様

50音順（後援を除く）（以下、敬称略）

補助事業

公益財団法人JKA

助成

Adobe Foundation
公益財団法人日韓文化交流基金

後援

厚生労働省
文部科学省
東京都
千代田区
社会福祉法人NHK厚生文化事業団
社会福祉法人視覚障害者支援総合センター
全国自立生活センター協議会
全国特別支援教育推進連盟
社会福祉法人鉄道身障者福祉協会
一般社団法人日本筋ジストロフィー協会
公益社団法人日本フィランソロビー協会

協賛（50音順）

アドビ システムズ 株式会社
株式会社イングランディーレ
公益財団法人オリックス宮内財団
関西学院大学
キッコマン株式会社
株式会社KDDIチャレンジド
国際ソロプチミスト川崎
株式会社コヤマドライビングスクール
大同生命社会貢献の会
日本コムシス株式会社
日本信号株式会社
株式会社日本テレソフト
ノーベルファーマ株式会社
バイオニア株式会社
ピー・ミュージック
株式会社フォーシーズ
有限会社フジオート FUJICON
株式会社フジテレビジョン
Meiji Seika ファルマ株式会社
株式会社モリシン
株式会社モンベル
りゅうえい治療院
医療法人和楽会

協力<企業・団体>

株式会社エイチ・アイ・エス バリアフリーラベル専門デスク
FMC ワッホー編集部
Give2Asia
株式会社クオライフドットコム
キュービーグループマッチングギフト「QPeace」
株式会社京進
株式会社Jストリーム
シャープ株式会社
NPO法人シアター・アクセシビリティ・ネットワーク
スポーツニッポン新聞社
デンマーク筋ジストロフィー協会
とっておきの音楽祭実行委員会SENDAI
NPO法人日本バリアフリー政策研究所
バンローリング株式会社
株式会社メディカルフォーラム
六本木 Blues Dog Café

組織委員

会長	野田 聖子	衆議院議員
名誉顧問	エーバルド・クロー	デンマーク筋ジストロフィー協会 会長
顧問	長谷川 岳 平松 一夫	参議院議員 関西学院大学 教授
理事	荒 義彦 アレクサンドル 伊藤 和博 今福 義明 奥山 俊博 貝谷 嘉洋 金子 秀明 小林 るつ子 齋藤 省 鈴木 麻美子 高木 真 高橋 久 高橋 実 高橋 陽子 竹中 ナミ 寺田 学 仲川 一昭	株式会社ウィルビー・インターナショナル セールスマネージャー アクセスジャパン 代表 東京大学先端科学技術研究センター 特任研究員 NPO法人日本バリアフリー協会 代表理事 株式会社日本テレソフト 社長 玩具福祉学会 理事長 有限会社さいとう工房 社長 株式会社マグナ 代表取締役 財団法人日本チャリティ協会 社会福祉法人視覚障害者支援総合センター 理事長 公益社団法人日本フィランソロビー協会 理事長 社会福祉法人プロップステーション 理事長 株式会社CMSコミュニケーションズ 代表取締役社長 福祉の管弦楽団まごころ・ボランティア オーケストラ「響（ゆら）」 代表・指揮者 NPO福祉ネットワーク「結」 株式会社ダイレクト インブット 株式会社プロシード 社長 株式会社コヤマドライビングスクール 総務人事部長 株式会社イースクエア 代表取締役社長 NPO法人音の羽根 理事長 読売新聞 バイオニア株式会社 株式会社ニューメディア 月刊ニューメディア 編集長 株式会社スポーツニッポン新聞社
	長崎 栄 西野 弘 野澤 勝 Peter David Pedersen 馬渡 徹郎 安田 武晴 山下 桜 吉井 勇 吉井 康雄	

実行委員会

実行委員長 貝谷 嘉洋

NPO法人日本バリアフリー協会代表理事

委員	安藤 貴子 植田 誠 大木 聖薫 大山 絢子 織田 友理子 北川 知彦 金 美寧 小酒 真由子 小西 明宏 斎藤 日登美	篠原 智子 嶋川 史剛 清水 育美 下村 大介 鈴木 雅弘 須藤 貴士 関口 京子 関本 友紀 相馬 優一郎 十川 奈美子	高岡 和宏 高野 康子 高橋 毅 田中 裕美 寺田 雅美 土井 葉月 中根 克 中村 公一 中村 辰男 西口 久美子	丹羽 真規 布川 清彦 韓 星民 半田 朋美 福島 浩太 福島 敏子 藤田 拓哉 棒谷 愛子 堀 隆三 堀越 美江	牧原 伸之 松繁 卓哉 三田 隆広 宮下 あけみ 明神 まりあ 村松 加王里 矢嶋 志穂 山崎 等 山下 寛美 山本 真也 渡邊 武晴
-----------	-----------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------

マスメディアによる ゴールドコンサート出場者募集の告知・放送・掲載

<テレビ・ラジオ>

- ・NHK神戸放送局
- ・コミュニティFM66局
「MORISHINのラジオ始めました」

<雑誌・機関紙など>

- ・NEWMEDIA Number385
- ・継Kizzuna vol.3
- ・公募ガイド VOL.344
- ・すべての人の社会 NO.417
- ・ふくしTIMES vol.760

<新聞>

- ・スポーツニッポン
- ・毎日新聞

<インターネット>

- ・Quo-Life
- ・CDジャーナル
- ・神奈川県社会福祉協議会
ホームページ内 セミナー・イベント情報
- ・iMedi





第11回ゴールドコンサート協力者の皆様

50音順（後援を除く）（以下、敬称略）

補助事業	協賛＜企業・団体＞	協力＜企業・団体＞
公益財団法人JKA	アドビ システムズ 株式会社 株式会社大塚商会 公益財団法人オリックス宮内財団 関西学院大学 キッコーマン株式会社 協友印刷株式会社 株式会社グッドマンサービス ユニバーサルソリューションズ クラクソ・スミスクライン株式会社 株式会社KDDIチャレンジド 国際ソロプチミスト川崎 株式会社コヤマドライビングスクール J-Workout株式会社 日本コムシス株式会社 日本信号株式会社 株式会社日本テレソフト ノーベルファーマ株式会社 バイオニア株式会社 ファイザー株式会社 株式会社フォーシーズ 有限会社フジオート FUJICON 株式会社フジテレビジョン Meiji Seika ファルマ株式会社 明治安田生命保険相互会社 株式会社モンベル 医療法人和楽会	株式会社アルファビート 車いす体験アドバイザーいっぽ 株式会社エイチ・アイ・エス バリアフリートラベル専門デスク FMC ワッホー編集部 キュービーグループマッチングギフト「QPeace」 局アナnet株式会社 NPO法人シアター・アクセシビリティ・ネットワーク 株式会社Jストリーム シャープ株式会社 社会福祉法人太陽会 しょうぶ学園 スタンダードチャータード銀行 デンマーク筋ジストロフィー協会 栃木煎餅 こめの里本舗 とっておきの音楽祭実行委員会SENDAI NPO法人日本バリアフリー政策研究所 バンローリング株式会社 三菱UFJ信託銀行 株式会社メディカルフォーラム 株式会社モリシン 六本木 Blues Dog Café 他 匿名希望1社
助成		
日本社会福祉弘済会（関西予選会） 他 匿名希望1社		
後援		
厚生労働省 文部科学省 東京都 千代田区 社会福祉法人NHK厚生文化事業団 社会福祉法人視覚障害者支援総合センター 全国自立生活センター協議会 全国特別支援教育推進連盟 社会福祉法人鉄道身障者福祉協会 一般社団法人日本筋ジストロフィー協会 公益財団法人日本フィランソロピー協会		

協賛＜個人＞			
新居 倫子	加藤 喜昭	鈴木 公夫	福島 浩太
伊藤 みと梨	菅野 和彦	曾利 真一	福島 敏子
今泉 至明	工藤 稔	出口 貴美子	細川 佳代子
浦田 泉	久保木 富房	西川 將巳	吉井 勇
大木 聖薫	佐々木 司	萩原 岳	吉崎 英雄
大野 みどり	清水 千佳代	福澤 利夫	吉田 栄治
			他 匿名希望7名



平成26年度競輪補助事業完了のお知らせ



この度平成26年度の競輪の補助金を受けて、左記の事業を完了いたしました。

記

- 一、事業名
平成二十六年 障がいのある人が幸せに暮らせる社会を作る活動 補助事業
- 二、事業の内容
第11回ゴールドコンサート
- 三、補助金額
五八五四〇七二円
- 四、実施場所
東京国際フォーラム ホールC
- 五、完了年月日
平成27年1月7日

（特非）日本バリアフリー協会
代表理事 貝谷 嘉洋



©川津 貴信



ボランティアスタッフ募集のお知らせ

障がいをもつミュージシャンの音楽イベント「第12回ゴールドコンサート」の運営を有志でお手伝いしていただける方を探しています。(昨年、学生さんから社会人の方まで約200名の方にご参加いただきました)

●日時

2015年10月12日(月・祝) 9時頃から21時頃

終日お手伝いいただける方

ただし仕事内容によっては時間が早まったり、お昼からの参加となったりする場合があります

事前準備の段階からご参加いただける方も併せて募集します。

●仕事の内容

障がいをもつ出場者や舞台裏の手伝い、来場者の受付・案内、機材の搬入搬出、会場警備、リポート係、その他

当日までの準備 [ご参加いただける方]

※事前ボランティア説明会を開催(10月3日(土) 13時30分から17時、会場:東京都千代田区丸の内2-1-1 明治安田生命ビル MY PLAZA ホール)

※経験は問いません。障がい者の方も歓迎。

※後日反省会を予定しております。奮ってご参加ください。

●会場

東京国際フォーラム ホールC【最大座席数1,502席】

(東京都千代田区丸の内3-5-1)

JR線 有楽町駅より徒歩1分、東京駅より徒歩5分

●コンサート当日の諸条件

ボランティア保険: 万一の事故に備え、主催者側で一括加入。

軽食・飲み物支給あり、交通費の支給なし

お問い合わせ先

NPO法人日本バリアフリー協会 ゴールドコンサート事務局
〒102-0093 東京都千代田区平河町1-7-16-801
電話 03-5215-1485 FAX 03-5215-1735 E-mail: volunteer@npjba.org URL: http://www.npojba.org

ご希望の方は下記申込書にもれなくご記入の上、事務局までFAX又はメールでご送付下さい。

締切

2015年8月20日(木)

(※応募者多数の場合、締切前に募集を終了する場合があります。)

第12回ゴールドコンサートボランティア申込書 **送付先** Fax: 03-5215-1735 または E-mail: volunteer@npjba.org

(フリガナ): ※氏名	性別	男・女
当協会ホームページ上・会報等で名前の掲載は可能ですか? 当協会からお知らせ(ご案内・活動報告等)をメールにてお送りしてもよろしいですか?	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ	年齢
※連絡先: 〒	連絡には主として「Eメール(パソコン)」を使用しますが、支障のない限り下記連絡先は全てご記入ください。	
Eメール(パソコン):	携帯電話:	
Eメール(携帯):	F A X:	
情報量の多いご案内もあるため、出来る限りEメール(パソコン)のご利用をお願いします。ご連絡をいただいてから1週間以上たっても登録完了のお知らせがない場合には事務局までご連絡ください。		
勤務先・学校名		
※参加可能な時間:	1. 事前の準備(2015年7月~コンサート当日まで間の都合のつく時)から参加したい。 2. 2015年コンサート当日 終日(9:00頃~21:00頃)のみ参加を希望*お仕事内容によっては7:30集合となります。	
☆質問1から3にお答え下さい		
1. ボランティア経験はありますか?	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ	
2. 過去にゴールドコンサートを手伝ったことがありますか? ※あると答えた方は第何回のゴールドコンサートですか?	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ	_____ 回目
3. その他経験内容(手話・英語・韓国語・介護経験等)	_____	
◎ その他特に伝えておきたい点など	_____	

※がついているところは必須項目です。(当法人が開催に関わる事業の連絡以外にご記入いただいた個人情報が使われることはありません。また、情報の漏洩を防止するため、必要な措置を講じ、個人情報を適切に管理いたします。)



第12回ゴールドコンサート (チケット発売中)

日時

平成27年 **10月12日**(月・祝)

15:30開場 / 16:30開演

チケット申込み



チケットぴあ

0570-02-9999

<Pコード 268-206>

会場

**東京国際フォーラム
ホールC**

座席

SS席指定	¥4,000
S席指定	¥3,500
A席自由 (高校生以下無料)	¥2,000
車いす席指定	¥2,000

- ★無料席・車いす席をご希望の方、
補助犬をお連れの方は事務局に要事前申込。
- ★必要な方介添者1名無料
- ★手話通訳・パソコン文字通訳あり。
- ★ご希望の席をご用意できない場合があります。

高校生以下 無料招待

A席のみ高校生以下の児童・生徒の皆様¹に無料招待席(A席自由席)を用意しています。子供たちに障がい者の活躍する姿を見てもらい、理解を深めてもらえれば幸いです。なお、事務局に事前申し込みが必要です。

合理的配慮・情報保障について

当日は車いす席、磁気誘導ループ、手話通訳、パソコン文字通訳、点字チラシ、点字プログラムも用意しており、障がいを持つ皆様楽しんでいただけるよう準備しております。

インターネット生放送

会場に来られない方のためにインターネット生放送を行います。当日のゴールドコンサートの模様を全世界に向けて配信いたします。下記アドレスにアクセスして御覧ください。

URL: <http://gc.npojba.org/live>
日時: 平成27年10月12日(月・祝)
16:30よりスタート

この事業は、競輪の補助を受けて実施します。

お問合せ

**NPO法人日本バリアフリー協会
ゴールドコンサート事務局**

〒102-0093
東京都千代田区平河町1-7-16-801号
TEL: 03-5215-1485
FAX: 03-5215-1735
E-mail: info@npojba.org
URL: <http://www.npojba.org>



発行所 〒157-0037 東京都世田谷区砧6-26-21
特定非営利活動法人障害者団体定期刊行物協会 定価 50円
編集人 〒102-0093 東京都千代田区平河町1-7-16 801号
特定非営利活動法人日本バリアフリー協会 代表理事 貝谷嘉洋



ポスター制作: tomo

印刷協力: 社会福祉法人東京コロニー コロニー印刷